

平成28年度

知床半島先端部地区利用状況調査業務

報告書



平成28年11月

環境省釧路自然環境事務所

羅臼遊魚釣り部会

# 目次

## 1. 業務概要

- 1-1 業務目的 . . . . . 1
- 1-2 業務内容 . . . . . 1

## 2. 知床半島先端部地区の動力船による利用状況調査

- 2-1 インターバルカメラの設置、電池交換の実施 . . . . . 3
- 2-2 インターバルカメラの設置状況 . . . . . 4
- 2-3 知床半島先端部地区の動力船による利用状況 . . . . . 6

## 3. 先端部地区の情報収集と利用者指導

- 3-1 相泊～知床岬までのトレッキングに関するアンケート内容 . . . 8
- 3-2 相泊～知床岬までのトレッキングに関するアンケート結果 . . . 8
- 3-3 相泊～知床岬までのトレッキングに関する不適切な利用 . . . 10
- 3-4 難所の状況変化及びヒグマの出没情報 . . . . . 10

## 4. 情報のとりまとめと提供 . . . . . 10

## 5. 釣り場でのヒグマ出没状況等調査

- 5-1 インターバルカメラの設置、電池交換の実施 . . . . . 11
- 5-2 インターバルカメラの設置状況 . . . . . 12
- 5-3 釣り場でのヒグマ出没状況 . . . . . 14

## 参考地図 知床半島先端部地区の地名 . . . . . 17

## 1. 業務概要

### 1-1 業務目的

知床国立公園では、原始性の高い自然や野生動物とのふれあいを求める利用ニーズの増大と利用の多様化に伴い、利用者の集中や不適切な利用に伴う自然環境への悪影響が懸念されており、釧路自然環境事務所では、平成21年度には、「知床世界遺産ルサフィールドハウス」（以下、ルサフィールドハウス）を整備し、知床岬等の知床半島先端部地区の利用者に対し、情報提供やルール・マナーの啓発等を実施している。

本業務は、知床半島先端部地区の利用状況調査を行い、先端部地区の適正な利用のあり方の検討に資するデータを収集することを目的とする。

### 1-2 業務内容

#### (1) 知床半島先端部地区の動力船による利用状況調査

知床岬地区の利用状況を把握するため、ハイシーズン（7～8月）のうち約1か月間、インターバルカメラを設置し、一定の間隔（ただし夜間を除く）で写真を撮影することにより動力船による文吉湾の利用状況を調査した。

#### (2) 先端部地区の情報収集と利用者指導

ハイシーズンの約1か月間、羅臼町相泊から知床岬までの海岸線トレッキング等の利用状況を把握するため、利用者に対して、トレッキングルート上で聞き取り調査を実施した。

聞き取りは、1.目的地、2.行動予定、3.クマ対策の状況、4.事前のルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無、5.「知床半島先端部利用の心得」「シレココ」の認知度、6.パーティーの数等について実施した。あわせて難所の状況変化（落石や崩落頭）、ヒグマ出没等の情報収集を行った。

#### (3) 情報のとりまとめと提供

上記(1)(2)の実施状況を週ごとにとりまとめ、ルサフィールドハウスに提供した。

#### (4) 釣り場でのヒグマ出没状況等調査

釣り利用者とヒグマとの軋轢の発生状況等を把握するため、ハイシーズン（8～9月）のうち約1か月間、知床半島先端部地区利用の心得に定める沿

岸河口付近でサケ・マス釣りの釣り場であるペキン浜において、インターバルカメラを2台設置し、一定の間隔（ただし夜間を除く）で写真を撮影することにより、釣り利用者との接触状況、ヒグマ移動ルート及び各ルートの出没頻度等を調査した。

## 2. 知床半島先端部地区の動力船による利用状況調査

### 2-1 インターバルカメラの設置、電池交換の実施

インターバルカメラは知床岬の文吉湾の番屋付近(近景の撮影を目的とする。以下、「近景カメラ1」、「近景カメラ2」「近景カメラ3」と呼ぶ。)3カ所に設置した。なお、遠景カメラの設置を予定していた台地上のエゾシカ仕切り柵付近については、ヒグマ出没情報があったことから、環境省担当官と協議し、設置を行わないこととし、代替として近景カメラ3を設置した。

設置期間は7/31～8/20であり、設置期間中は1回、電池交換とデータの回収を実施した。なお、設置期間は約1ヶ月を予定していたが、8/20以降海上状況が悪くなりカメラを回収できなくなる可能性があったことから、環境省担当官と協議し、設置期間3週間でカメラを回収した。また、電池交換とデータの回収については、7/31～8/13の間の作業予定日に設置カメラ付近にヒグマの出没があり、文吉湾に上陸できなかったため、環境省担当官と協議の上で1回となった。

インターバルカメラは5分に1回、画像を記録する設定とした。近景カメラ1、近景カメラ3の7/31の9:00から8/13の7:30まで、近景カメラ2の8/13の8:00から8/20の12:00までの期間について、原因不明であるがデータが欠損していた。

作業日程は以下のとおり。

2016.7.31 (日) 8:30 インターバルカメラの設置

2016.8.13 (土) 12:30 電池、USB交換

2016.8.20 (土) 12:30 インターバルカメラの回収  
(インターバルカメラのデータは8/20 12:35まで)

データ状況	近景カメラ1	近景カメラ2	近景カメラ3
7/31～8/13	×	7/31 8:40～ 8/13 12:45	×
8/13～8/20	8/13 12:30～ 8/20 12:20	×	8/13 12:40～ 8/20 12:35

2-2 インターバルカメラの設置状況

近景カメラ1の設置状況

設置前



設置後



近景カメラ2の設置状況

設置前



設置後



近景カメラ3の設置状況

設置前



設置後



インターバルカメラの設置位置



### 2-3 知床半島先端部地区の動力船による利用状況

インターバルカメラの画像を確認した結果、動力船による利用状況は以下のとおりであった。

日付	船舶の種類	入港時間	出航時間	滞在時間
2016.8.5	船外機	10:35	8/5 12:55	2:20
2016.8.13	ヨット	不明	8/13 7:35	不明
2016.8.13	プレジャーボート	14:30	8/13 15:05	00:35

確認された船舶について、画像と画像から読み取れる状況を以下に示した。

#### ① 8/5 船外機

10:35 入港し 12:55 まで停泊していた。

文吉湾での滞在時間は約 2 時間 20 分であった。

画像から 3 名の上陸等が確認できた。



近景カメラ 2



近景カメラ 2

② 8/13 ヨット

入港時間不明。出航時間 7 : 35。

画像から上陸等は確認できなかった。



近景カメラ 2

③ 8/13 プレジャーボート

14 : 30 入港し 15 : 05 まで停泊していた。

文吉湾での滞在時間は約 35 分であった。

画像から 3 名の上陸等が確認できた。



近景カメラ 2

動力船による利用状況のまとめ

7/31～8/20 の約 1 か月間の画像データから、文吉湾において船外機(1回)、ヨット(1回)、プレジャーボート(1回)の利用が確認できた。

### 3. 先端部地区の情報収集と利用者指導

#### 3-1 相泊～知床岬までのトレッキングに関するアンケート内容

相泊～知床岬までの海岸トレッキング等の利用状況を把握するため、7/31～8/20までモイルス及びペキンの鼻において聞き取り調査を実施した。モイルス、ペキンの鼻までは船舶を使用してアクセスし、毎日4時半ごろから11時頃まで、利用者に対して聞き取りを実施した。

聞き取り調査は、目的地、行動予定、クマ対策の状況、ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無、「知床半島先端部地区利用の心得」「シレココ」の認知の有無、パーティーの人数等について実施し、合計9組、20名から回答を得た。なお、8/1～8/10、8/15～8/20については聞き取り調査の対象がいなかった。

また、聞き取り調査実施地点等への移動時に、利用を確認しながら海況等の状況によりアンケート調査を実施できなかった利用者（船から見えたトレッカー等）が2組程度あった。

#### 3-2 相泊～知床岬までのトレッキングに関するアンケート結果

##### ① パーティーの人数

1人パーティーが3組、2人パーティーが2組、3人のパーティーが3組、4人のパーティーが1組であった。

##### ② 目的地

知床岬が8組、モイレウシが1組であった。

##### ③ 行動予定

往復とも徒歩が5組、カヌーが4組であった。行きに船を使用する者は確認できなかった。

##### ④ クマ対策の状況

全てのパーティーがクマ鈴を所持していた。また、クマスプレーを所持していたパーティーが4組みられた。フードコンテナを所持していたパーティーはいなかった。

⑤ ルサフィールドハウスへの立ち寄りの有無

6組のパーティーがルサフィールドハウスに立ち寄ったが4組のパーティーは閉館時であった。ルサフィールドハウスを認知していたが、立ち寄らなかったパーティーが2組認められた。

また、1組がルサフィールドハウス認知していなかった。

⑥ 「知床半島先端部地区利用の心得」「シレココ」の認知の有無

両方とも知っているパーティーが7組、利用の心得を知っているパーティーが2組であった。

モイルス、ペキンの鼻における聞き取り調査結果

日付	目的地	行 動 予 定	クマ対策	ルサ FH への 立ち寄り	心得、シレココの認知	人数	備考
8/11	知床岬	往復とも徒歩	クマスプレー・クマ鈴	立ち寄ったが閉館していた	両方とも知っている	2	
8/11	知床岬	カヌー	クマ鈴	立ち寄らなかった	心得を知っている	3	
8/12	知床岬	カヌー	クマ鈴	立ち寄らなかった	心得を知っている	3	
8/12	知床岬	往復とも徒歩	クマスプレー・クマ鈴	立ち寄った	両方とも知っている	1	
8/13	知床岬	往復とも徒歩	クマスプレー・クマ鈴	立ち寄ったが閉館していた	両方とも知っている	1	
8/13	モイルウシ	カヌー	クマ鈴	立ち寄らなかった	両方とも知っている	4	
8/13	知床岬	カヌー	クマ鈴	立ち寄ったが閉館していた	両方とも知っている	3	
8/14	知床岬	往復とも徒歩	クマスプレー・クマ鈴	立ち寄った	両方とも知っている	2	
8/14	知床岬	往復とも徒歩	クマ鈴	立ち寄ったが閉館していた	両方とも知っている	1	

#### 船上から確認した知床半島先端部地区利用状況

日付	場所	行動	人数	その他
7/31	ペキンの鼻	カヌー 2艇	2	
7/31	観音岩付近	トレッキング	2	

#### 3-3 相泊～知床岬までのトレッキングに関する不適切な利用

モイルス及びペキンの鼻での聞き取り調査の実施期間、知床半島先端部地区利用の心得から逸脱した不適切な利用（不十分なヒグマ対策、たき火の実施、ゴミの投棄、番屋への宿泊、釣魚の投棄等）の有無について確認を行ったが、不適切な行為は特に認められなかった。

#### 3-4 難所の状況変化及びヒグマの出没情報

調査期間中、難所については特に状況の変化は認められなかった。ヒグマについては、調査期間中、7月31日頃から、モイルス、ペキンの鼻、滝の下、クズレ滝、文吉湾等で毎日2～3頭が確認された。

#### 4. 情報のとりまとめと提供

「知床半島先端部地区の動力船による利用状況調査」および「先端部地区の情報収集と利用者指導」の結果については、電話および訪問により、週に1回程度ルサフィールドハウスに情報提供した。

## 5. 釣り場でのヒグマ出没状況等調査

### 5-1 インターバルカメラの設置、電池交換の実施

インターバルカメラはペキン浜に4台設置した。設置期間は8/21～9/23であり、設置期間中は1回、電池交換とデータの回収を実施した。なお、電池交換とデータの回収については、作業予定日に天候が悪い日が続き、ペキン浜に上陸できなかつたため、環境省担当官と協議の上、1回となった。

インターバルカメラは5分に1回、画像を記録する設定とした。

カメラ1、カメラ4の8/21の8:30から9/3の8:00まで、カメラ2、カメラ4の9/3の8:00から9/23の6:05までの期間について、原因不明であるがデータが欠損していた。

作業日程は以下のとおり。

2016.8.21 (日) 8:30 インターバルカメラの設置

2016.9.3 (土) 8:00 電池、USB交換

2016.9.23 (金) 6:00 インターバルカメラの回収  
(インターバルカメラのデータは9/23 6:05まで)

データ状況	カメラ1	カメラ2	カメラ3	カメラ4
8/21～9/3	×	8/21 9:00～ 9/3 7:50	8/21 9:10～ 9/3 7:45	×
9/3～9/23	9/3 8:05～ 9/23 6:05	×	9/3 8:00～ 9/23 6:05	×

5-2 インターバルカメラの設置状況

カメラ1の設置状況

設置前



設置後



カメラ2の設置状況

設置前



設置後



カメラ3の設置状況

設置前



設置後



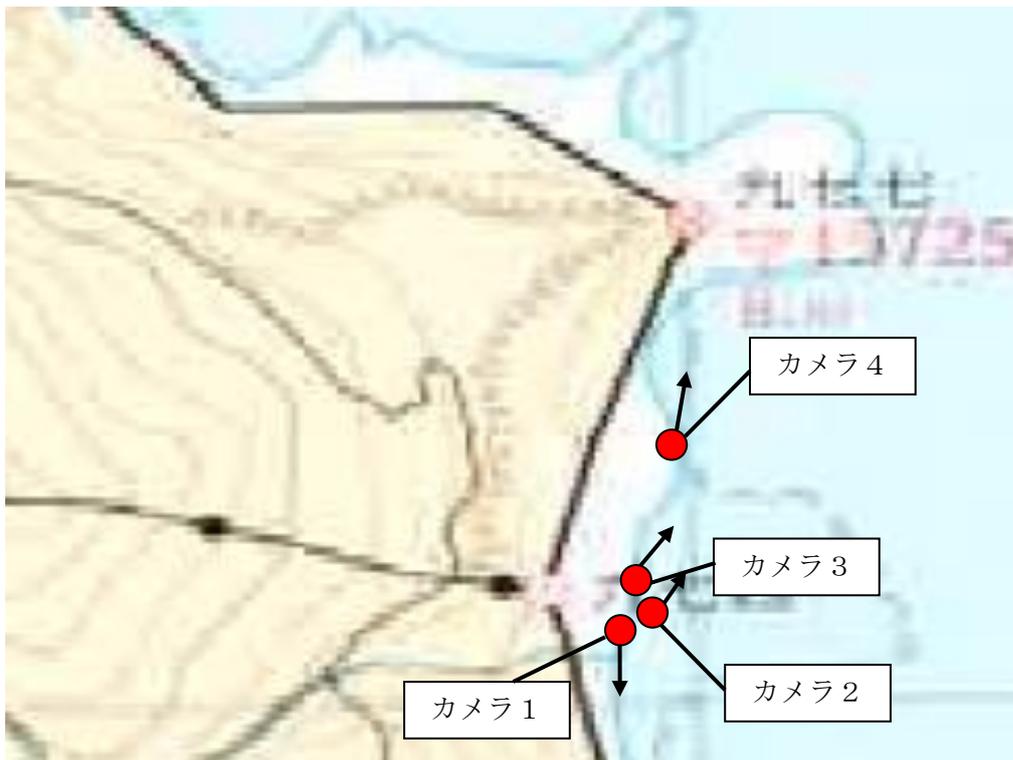
カメラ4の設置状況  
設置前



設置後



インターバルカメラの設置位置



### 5-3 釣り場でのヒグマ出没状況

8/21～9/23 の約1か月間の画像データから、ペキン浜においてヒグマの出没が40回程度確認できた。釣り利用者とヒグマとの軋轢の発生状況は確認できなかった。

確認されたヒグマの画像の一部を以下に示す。

① 9/1 15:23 カメラ2



② 9/4 17:35 カメラ3



③ 9/8 10:20 カメラ3



④ 9/16 5:45 カメラ1



なお、インターバルカメラを4台設置したが、何らかの原因で撮影されず、ヒグマの行動が画像に写っていないものが多かった。今後、ヒグマの行動をより詳細に把握するためには、カメラの状態を確認する作業が必要と思われた。

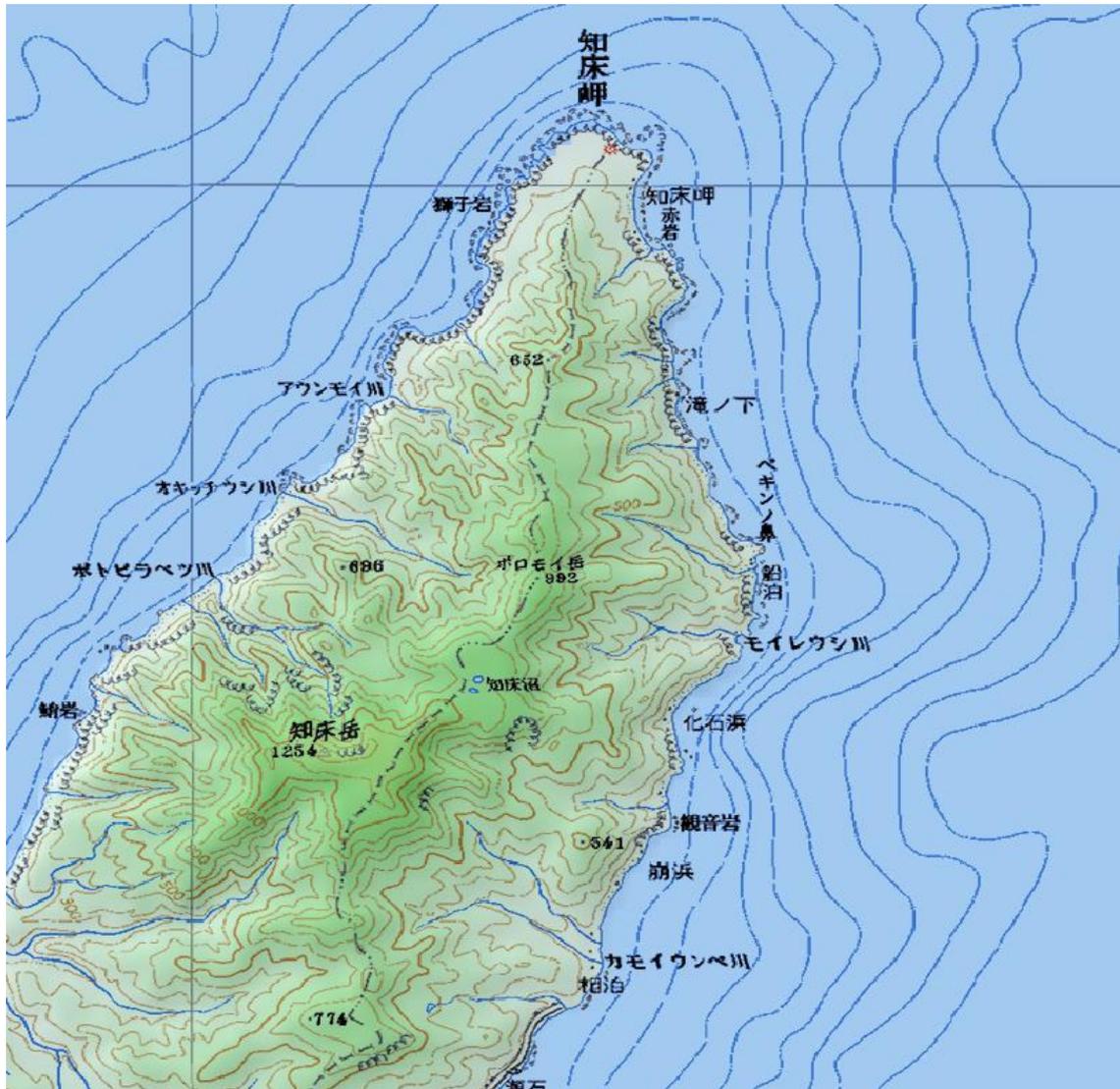
また、雨粒により画像が判明しにくい写真が多くあった。ひさしを設置するなど、対策を検討する必要がある。



写真：雨粒により画像が判明しにくい写真

加えて、ヒグマが写っていてもヒグマの行動や移動ルートの確認ができなかったことから、設置箇所を複数設けモニタリングするなど、対策を検討する必要がある。

参考地図 知床半島先端部地区の地名



リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔A ランク〕のみを用いて作製しています。